

~TANKYU~

谷地南部小学校

校内研究だより

2023. 12. 2

No.38 文責 荒木秀

高校入試改革

右記は、11月7日の山形新聞のトップ記事です。県立高校入試の方法を検討する検討委員会が、これまでの推薦入試を廃止し、普通科も含む全ての高校で、2回の受験機会にするという最終案をまとめました。順調にいけば、現中学1年生が受験をする2026年から実施されるそうです。

詳細はこれから検討されるでしょうが、現時点で次のことが書かれています。以下抜粋。

前期(特色)選抜は、各学校のアドミッション・ポリシー(入学者の受け入れに関する方針)に基づいて行われる。個人面接▽集団面接▽作文▽発表▽その他(小論文、実技、口頭試験、学校ごとの学力検査など)ーの5つから、1~3つを学校が選択する。

県高校教育課は「こういう中学生に来てほしい、との方針を各高校がアドミッション・ポリシーに定めている。これに沿って学校ごとに問うものが変わる」と説明。

今までの推薦入試と何が違うのか、よくわかりませんが、普通科も含めて2回受験機会があることはいいことですね。

また、新たに横文字が出てきましたねえ。「アドミッション・ポリシー」なんでしょう?次号で、少しかみ砕いて説明しますね。

2023年(令和5年)11月7日 火曜日

11月 日 月 火 水 木 金 土 2023年(令和5年) 11/7 火曜日

山形新聞

山形新聞社
〒990-8500
山形市築港町2-5-12
編集局〒990-0223 5271
読者センター023-622-5666
〒990-0009-1790009
山形新聞社2023

県公立高入試最終案

全校で前後期実施 普通科も機会複数に

県公立高校入試の方法改革を検討する4回目の検討委員会が6日、山形市の県立山形総合支援庁で開かれ、最終報告案の方向性をまとめた。全校で「前期(特色)選抜」「後期(一般)選抜」を実施し、受験機会を2回設ける。3月に「一般選抜」の選抜(後期)を実施し、受験機会を増えることになる。専門学科などの推薦入試は廃止される。2026年度入学者選抜から導入する方針。

県立くない。前期(特色)選抜は、各学校のアドミッション・ポリシー(入学者の受け入れに関する方針)に基づいて行われる。個人面接▽集団面接▽作文▽発表▽その他(小論文、実技、口頭試験)に関する方針。個人面接▽集団面接▽作文▽発表▽その他(小論文、実技、口頭試験)に関する方針。個人面接▽集団面接▽作文▽発表▽その他(小論文、実技、口頭試験)に関する方針。

「の五つから、一〜三つを」説明。各学校がそれぞれに学校が選択する。県高校教育課は「こういう中学生に来てほしい、との方針を各高校がアドミッション・ポリシーに定めている。これに沿って学校ごとに問うものが変わる」と説明。募集人員は定員の5%以上、50%以内(音楽科は60%程度、体育科は80%程度)とし、学校が設定する。後期(一般)選抜は3月に行われる。このほか、県外志願者の受け入れを可能とする要件を緩和する。「直近2年の入学定員に対する合格者数の割合を連続して9割に満たない学校」に拡大した。最終報告案は12月に県教育長に提出され、県教委は来年1月に改善方針を決定する。(玉虫秀明)

あさ5時▶最新紙面を
やましん 聞
読者無料・電子版サービス
やましんイブニング 検索▶